

新井 千乃

あらいちの / Arai Chino

<p>所属・役職</p>	<p>エアロトヨタ株式会社 空間情報事業本部 技術統括部 G空間研究所 研究員</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>埼玉県川越市</p>	
<p>略歴</p>	<p>2013年 朝日航洋株式会社（現エアロトヨタ株式会社）入社 空間情報事業本部 東京空情支社 資産情報部</p> <p>2017年 筑波大学派遣研究員（～2020年3月）</p> <p>2020年 空間情報事業本部 東京空情支社 地理情報部（～2022年3月）</p> <p>2022年 空間情報事業本部 技術統括部 G空間研究所</p> <p>2022年 一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID） 研究会事務局等</p> <p>2023年 アーバンデータチャレンジ実行委員会事務局</p>	
<p>こんなことを支援できます</p>	<p>①自治体 GIS・データ利活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体 GIS をテーマとした研究・普及・導入支援 QGIS の使い方・GIS データ作成に関するアドバイス 自治体データ利活用推進・庁内データ流通の「ことはじめ」整理支援 <p>②オープンデータ・EBPM 推進</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンデータ整備・機械判読性のあるデータへの理解を深めるワーク EBPM に向けたデータ収集・整備・活用の進め方の相談 <p>③自治体業務デジタル化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> システム導入前の業務細分化・データ蓄積の「小さなはじめの一步」支援 地域情報化計画・DX 推進計画の策定支援 DX 推進のための機運醸成・人材育成研修への助言 	
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>自治体業務で日々扱っている情報に着目し、GIS を活用した業務効率化や高度化を支援しています。</p> <p>「GIS はどこから始めればよいのか」という導入段階から、実務での定着、GIS に習熟した担当者向けのデータ利活用まで、さまざまなレベルに対応します。</p> <p>職員にとって使いやすく、住民にとってわかりやすい GIS 活用方法を、実務に即してご提案するとともに、GIS 活用に必要なデータの探し方、代表的な国内オープンデータの活用方法、GIS で扱いやすいデータの整え方についてもお伝えします。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

OD オープンデータ **生成** 生成AI活用 **EB** EBPM

<地域情報化に関する実績>

- 2022年 民間事業者によるリアルタイム災害情報提供研究会（AIGID）事務局
- 2023年 アーバンデータチャレンジ 実行委員会事務局
- 2023年 国土交通大学校 GIS 研修 講師
- 2023年 広島県 DoboX × PLATEAU Hack Challenge メンター